




連携自治体紹介シート

自治体名	山形県南陽市	
自治体の概要	<p>山形県の南部に位置する人口3万人のまち。古くから県南地方の交通の要衝として栄えてきました。</p> <p>“南陽”という名前からは“ぼかぼかとした温かさ”が連想されますが、周辺を山々に囲まれた盆地気候。夏は極めて暑く冬はとことん寒い（おまけにドカッ！と雪が降る）。・・・なんとも 四季に素直な暮らしがここにはあります。</p> <p>山形新幹線つばさで東京から2時間20分。ひとたび赤湯駅に降り立てば 温泉、くだもの、地酒に地ワイン・スカイスports、伝統と民話、さらに世界一のコンサートホールで繰り広げられるエンターテインメント。・・・そして、ラーメン、らーめん、拉麺！</p> <p>どこにでもありそうな小さな田舎町には、ここにしかない体験で満ち溢れています。冒頭の“ぼかぼかとした温かさ”、これは現地の人との触合いの中で存分に感じていただけるはず。つながり つどう 縁結がまち、南陽市 ―― ここはそういうまちなのです。</p>	
アクセス方法	山形新幹線つばさ 東京 → 赤湯（2時間20分）	
主な特色 PRポイント	<p>このワーケーションプログラムは“何も考えない時間”を軸に、温泉・ワイン・スカイスportsといった地域ならではのコンテンツを組み合わせました。心身のリフレッシュでひらめきを促し、クリエイティブな仕事が一層はかどることを祈ります。</p> <p>【ワイン】 農作業体験と醸造体験、テイスティング 【スカイ】 パラグライダーのタンデムフライト体験 【温泉】 温泉旅館と公衆浴場の湯めぐり 【フード】 ラーメン、山形ピッツァ、くだもの 【ワーク】 各所にWi-fi スポットあり、ひらめいたらすぐ仕事できます！</p> <p>※ スカイスportsや農作業体験も天候や気象条件により計画どおりには進まないことが想定されますが、“いい風が吹くまで”の待ち時間すらも有効に活用できるよう、コンパクトな地勢を活かした体験プログラムを提案いたします。</p>	 
主な地域課題	<p>人口減少はあらゆる側面に影響を及ぼしています。持続可能なまちづくりを進めるためには、新たな人のつながりや業種や地域を越えた協働が不可欠です。ワーケーションプログラムの中核「ワイン産業」の分野では、原料葡萄の栽培者の高齢化・担い手不足・耕作放棄の増加が顕在化。山形県における葡萄栽培発祥の地であり、東北最古から新進気鋭のものまでワイナリー6社が集積する“ワイン産地”としてのブランディング・情報発信をどう進めるかが課題となっています。</p>	